

2021年7月27日

社会福祉法人千葉育美会
理事長 林 隆 春

理事長就任のご挨拶

2021年6月20日開催の社会福祉法人千葉育美会理事会において、前理事長 長沼信治氏より理事長職を引継ぎました林隆春です。我が国の少子高齢化、団塊世代が後期高齢者に近づきつつある難しい時代に入ると今、理事長職に就くにあたり責務の重さをひしひしと感じております。

新型コロナウイルス禍の中、正常な経済活動、生活、教育、文化生活が滞っています。SNS などでは鬱積したものを吐き出すかのように「コロナはただの風邪」「マスクはするな」といった言葉や、PCR 検査会場に集団で押しかけ「PCR 検査は遺伝子検査だ、私たちの遺伝子をどうしようというんだ」と詰め寄った人たちもいました。「政治的に陽性者が作り出されている」「医療利権やワクチン製薬会社の利益の為に民衆の貴重な税金と健康が差し出されている」という意見に至っては、SNS を通して右とか左を超えた反社会感情が育ちつつある危うさを感じさせます。

私たち介護施設は、厚生労働省が提起している「『我が事・丸ごと』地域共生社会の実現」「福祉でまちづくり」を目指しています。施設は SDG s（持続可能な開発目標）の多くを含んでいます。何歳になっても働くことができます。障害を持つ方も働くことができます。ボランティアも可能です。若者も「自分が高齢者になって動けなくなっても見捨てられることはないんだ」とまさに安心社会の中で自らの能力開発に励むことができます。介護施設は思いやりも生みます。私たちのグループ施設、稲毛こひつじ園（千葉市稲毛区）では、子どもサッカーと交流しています。フードバンク活動では、母子寮、療育施設、児童センターなどに食の支援を行っています。

私たちが目指すものは、「地域のみなさんと一緒に地域課題を発見し、それを皆で共有、解決策を考える」です。それが「社会的包摂」であり、「安心安全社会」であると私たちは考えます。今後とも「福祉であたたかいまちづくり」を目指し、特別養護老人ホームをはじめ、施設及び在宅サービスを運営してまいりますので、お困りごとがありましたらお気軽にご相談いただければ幸いです。地域丸ごとお互い様の気持ちを忘れず運営にあたり精進してまいります。今後ともよろしくお願ひ致します。